

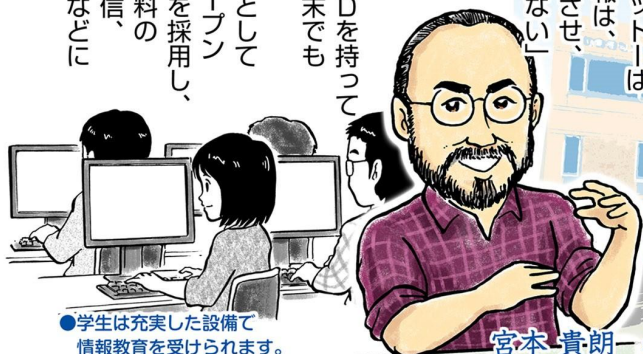
大阪府立大学 学術情報センターを紹介します

SS研から情報発信する「SS研、発信します！」第8弾は、大阪府立大学 学術情報センターにおじゃましました。最初に宮本先生に、現在の取り組みをお聞きしました。

昔の計算センターは計算サービスの提供を主としていましたが、最近の学術情報センターはIT環境の提供が主なサービスとなっています。現在は、ネットワーク、認証基盤、メール、ポータル、ストレージなどのサービスを提供しています。

各種業務システムには基盤となるネットワークやストレージも提供していて、モットーは「二度入力した情報は、システム間で連携させ、二度と打ち込まない」です。

学内の3つのキャンパスには約600台の端末を展開していて、IDを持っていない人は、どの端末でも自由に使えます。授業支援システムとして Moodle というオープンソースのシステムを採用し、授業の予習用の資料の提供や、動画の配信、授業後の小テストなどに活用しています。



宮本 貴朗 教授

●学生は充実した設備で情報教育を受けられます。

●大阪府立大学 学術情報センター

学生は学習の前に科目ごとの到達目標を設定し、学習後に達成度を自己採点します。学習の課程を記録することにより、学生自身が学習の到達度を評価し、自身の課題を見つけることができるようになります。



●言われた課題をこなすだけではなく自分で目標を設定して、学習します。

ここから泉先生、青木先生、小島先生に参加していただき、専門分野での指導について伺いました。

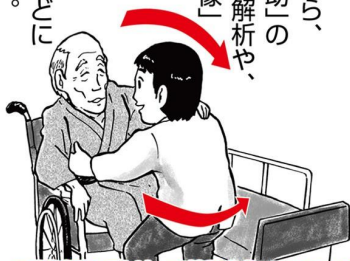
わたしは画像処理を中心に研究を行っています。学生には自分で考えてテーマを見つけてるように指導しています。



泉 正夫 教授

最近では色々なテーマに応用できるデバイスがありますね。

学生は、Kinectで取り込んだ画像から、「医療介護での介助」の無駄のない動きの解析や、「スポーツ中継画像」によるゲームの流れの解析、屋外設置カメラの画像から複数の人間の行動識別などに取り組んでいます。



●画像解析により、車椅子からベッドへの無理の無い移動の介助法を見つけます。

わたしは画像認識をテーマにしています。「被写体がどの位置にあるときベストショットとして認識されるか」とか、「画像から特定物体を検出する」などです。



青木 茂樹 准教授

画像処理はプログラムを書いて行うので、かなりハードルが高くなりますね。

ツールはあちこちに流れてますが、1から作るの大変です。



●「車」の画像認識、ベストショットの認識などをプログラムで行います。

わたしは情報教育のためのシステム開発を行っており、実際に1年次の情報科目の担当もしています。文系色の学生もおり、さほどコンピュータに興味が無い学生も将来のために必要という認識で勉強しています。問題に突き当たってもそれに立ち向かい、自分で解決する力を身につけて欲しいです。



小島 篤博 准教授



つまづいても諦めるな！

●「SS研、発信します！」は、SS研会員の方々のご要望により訪問取材させていただきます！まずは事務局まで連絡ください！